

## Q 便潜血検査で陽性。大腸内視鏡検査はしたほうがいいですか？

回答：市立貝塚病院

消化器内科 医長 青井健司医師



**A** 日本における大腸癌患者数は増加の一途をたどっており、臓器別で2015年から1位となり、死亡数に関しても2位で年間5万人以上が命を落としていく現状です。この30年間で大腸癌患者数は約3倍に増加しており、

### 積極的に受けることが大腸癌の死亡率減少に

今後大腸癌患者数、死亡数ともに増加が予想されています。

大腸癌死亡の抑制に

向けては、大腸癌の早期発見に向けた大腸癌検診が対策の中心となっています。我が国で

の大腸癌検診は便潜血検査免疫法（Fecal immunochemical test）

2日法を行っており、便中のヘモグロビン濃度の測定を行うことにより検査の陽性、陰性を分けています。一般的に便潜血検査受診者の約7%が陽性となると言われており、その中で精密検査として大腸内視鏡を受ける方は

は知られているため、陽性者は積極的に大腸内視鏡検査を受けることが望ましいです。特に大腸癌のリスクが高いといわれている高齢者、喫煙者、飲酒者、肥満、野菜摂取が少ない方、加工肉摂取が多い方、運動不足の方は注意が必要です。

約60-70%と低い状況にあります。大腸癌による死亡率がなかなか下がらない理由の一つとして、早期発見の内視鏡検査を受ける受診率の低さが挙げられています。便潜血陽性者が内視鏡検査を受けることで、大腸癌による死亡率が減少するとい

大腸内視鏡検査は抵抗があるという方も、外来や入院での検査、鎮静剤の使用などで安全で苦痛が少ない検査を実施しているので、専門医に相談して下さい。

問 072・422・5

865 市立貝塚病院

(貝塚市堀3-10-20)

[http://www.hosp.](http://www.hosp.kaiizuka.osaka.jp/)

[kaiizuka.osaka.jp/](http://www.hosp.kaiizuka.osaka.jp/)

